

メインスピーカー左



DRD-333DIY 構成

¥75,000

小形サウンドコントローラー
¥12,000



メインスピーカー右
¥21,000 一組



ウーファー
¥18,000



メインアンプ ¥24,000



接続コード一式付属

価格は税送抜き ()はサウンドコントローラー除く価格

DRD-333DIY 接続コード一覧

シガープラグ 接続コード



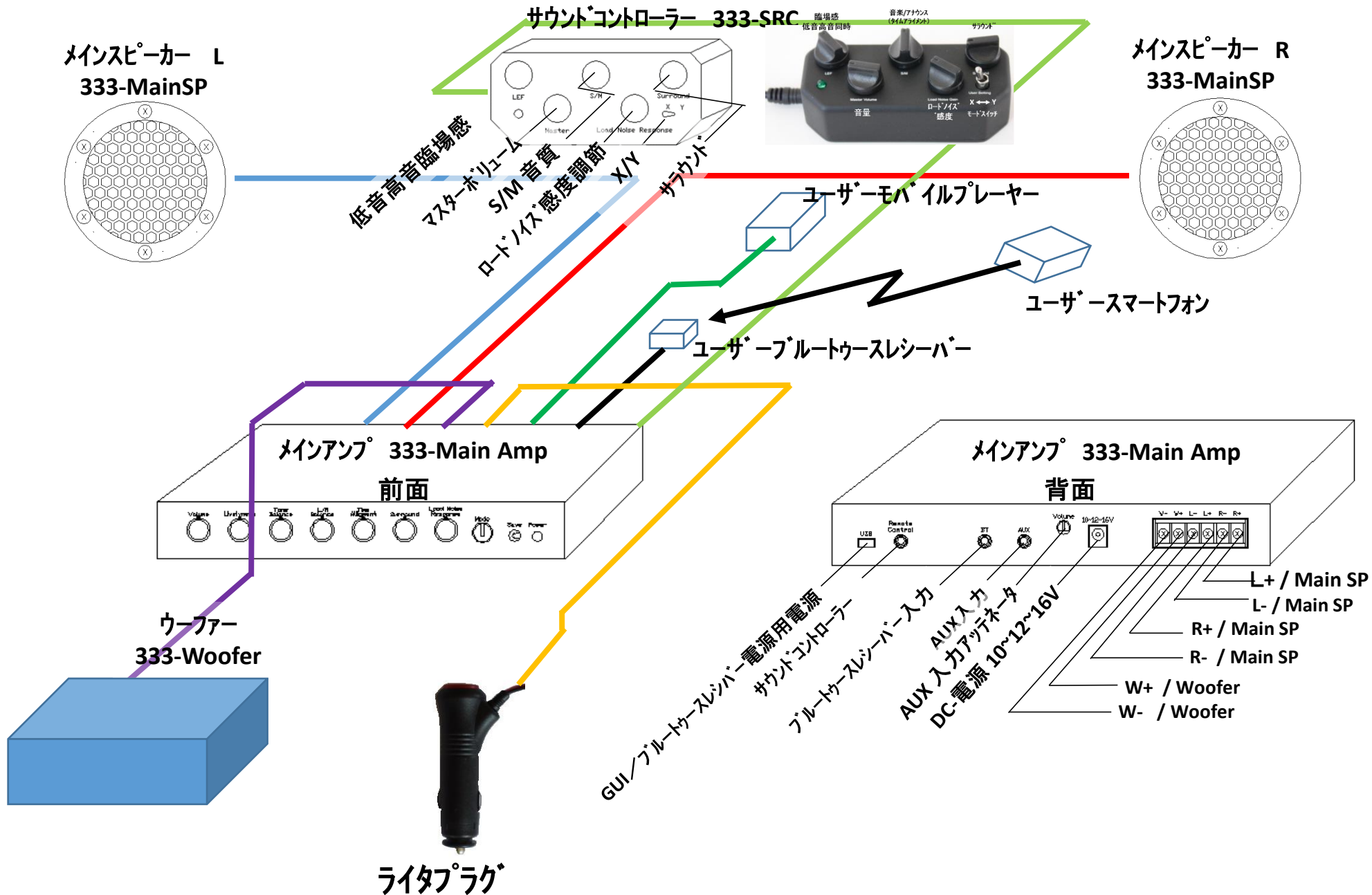
BT 接続コードセット



オーディオ 接続コード



取付簡単モデル DRD-333DIY 構成と接続 (サウンドコントローラ不使用可)



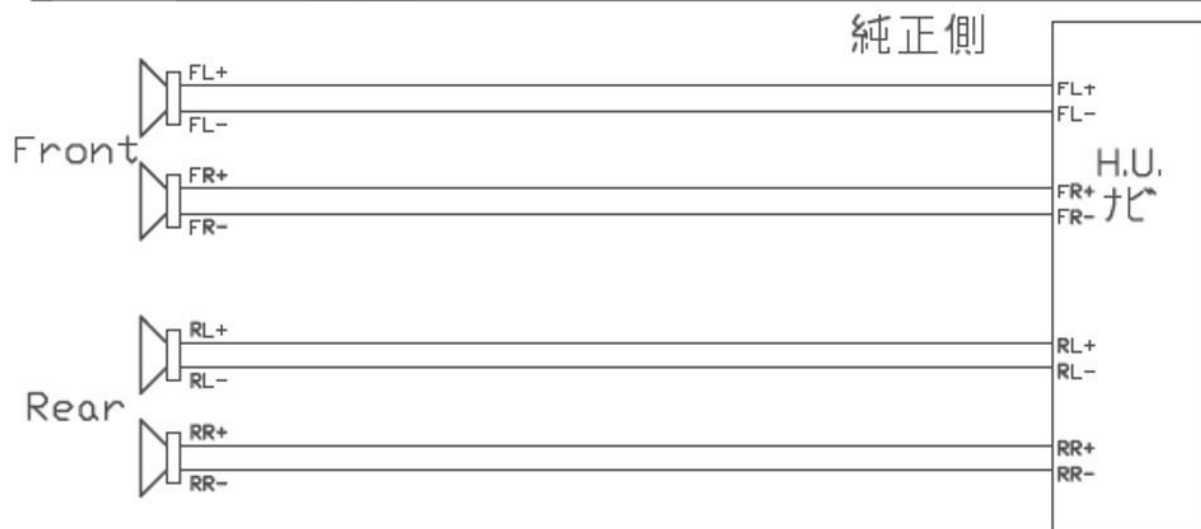
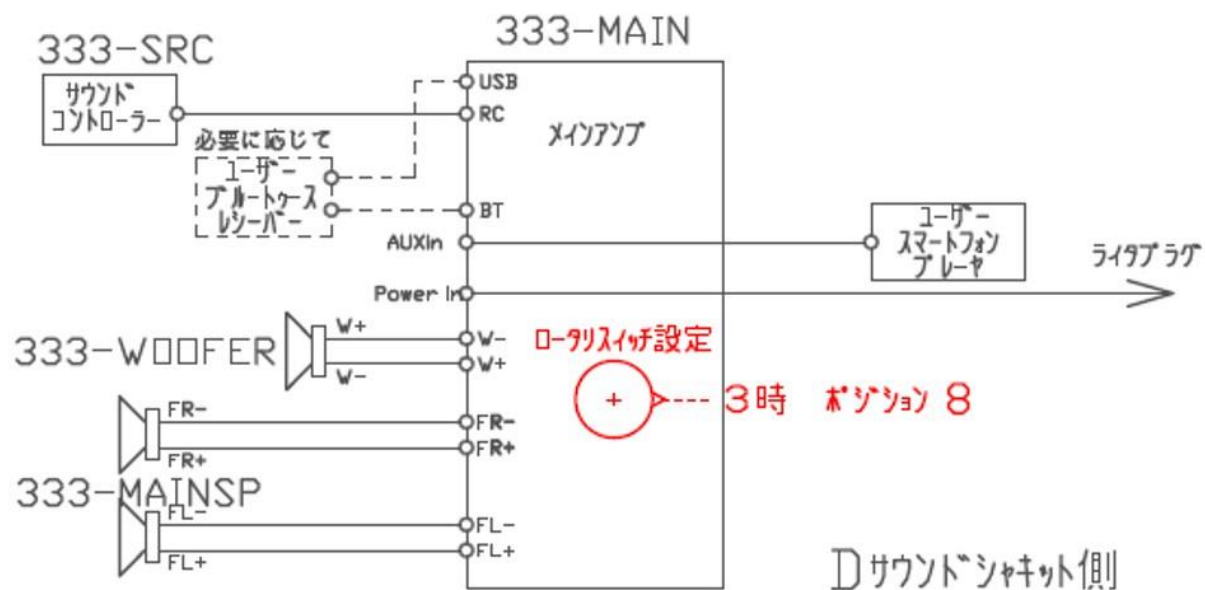
DRD-333DIY

モデル仕様	セカンドオーディオ(純正とは別)
用途	小型車 (スピーカー性能不足)
チャンネル数	2.1
メインスピーカー	新設 (中高音), ダッシュボード上取付
ウーファー	新設 (座席下設置)
音源	ユーザスマートフォン (イヤホン端子, ブルートゥース)
ロータリスイッチ ポジション	ポジション 8 (時計 3時)
注意事項	

構成表

品名	品番	数
メインアンプ	333-MainAmp	1
小型サウンドコントローラー	333-SRC	1
メインスピーカー	333-MainSp	1対
ウーファー	333-Woofer	1
ライタプラグ電源コード	RP-333	1
BT用オーディオコード	ACBT-333	2
BT用USB充電コード	USB-333	1

DRD-333DIY 配線図



Dサウンドシャキット 使い始めの推奨調節方法について

小型サウンドコントローラおすすめ状態

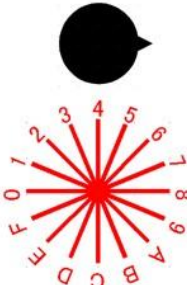


メインアンプのおすすめ状態

小型サウンドコントローラが接続されると、コントローラ側に制御が移る操作



モード選択



小型サウンドコントローラ	下左ツミ	音量	小音量(左)で強力な臨場感
	下右ツミ	ロードノイズの検出感度 (走行時効果が大きすぎる場合は左へ)	走行騒音に応じた最適音質音量
	上左ツミ	臨場感 (メインアンプで設定された低音と高音の比率で低音高音同時)	音源に近づいた音質
	上中ツミ	音楽/アナウンスの音質選択 12時: 自動, 左へ手動音楽, 右へ手動アナウンス タイムアライメントの調節は メインアンプのモード選択: 9時, モードスイッチを右に倒して、5秒後から調節し、モードスイッチを左に戻した後、モード選択も元に戻す	音楽だけ聴く場合は左いっぱい
	上右ツミ	サラウンド (AMラジオの音楽でもサラウンドで左右に音場を広げる)	
	モード制御	通常左側, 右側ではすべての効果がオフ	
メインアンプ	背面AUX感度	12時 (音割れがする場合は左へ、感度不足の場合は右へ)	
	左2番目	低音臨場感成分比率: 通常右いっぱい	
	左3番目	高音臨場感成分比率: 通常12時 → 高音が強い場合は左へ	
	左4番目	左右の音の方向を調整 (AMラジオのアナウンスを再生)	前方に聴こえるよう
	モード選択	各種音質選択: 右表参照 1. タイムアライメント調節時はスナップスイッチを右に倒し、5秒後から音楽/アナウンス ツミがタイムアライメント調節となる。AMラジオのアナウンスで音の方向を調節調節後、スナップスイッチを左に戻し、モード選択を元の位置に戻す。 2. ウーファの位相を反転する場合は モード選択を9時から左へ一つ回し、5秒経過後元の位置に戻す。 3. ウーファの位相を正相とする場合は モード選択を9時から右へ一つ回し、5秒経過後元の位置に戻す。 4. 純正音質改善の場合: 右図参照 5. セカンドオーディオの場合: 右図参照	

仕様
電源: 12V (10V~16V)
消費電流: 暗電流 0.003A/3ch
無信号時 0.23A/3ch
最大出力時平均 3A/3ch
入力信号: AUX 700mVrms/12時
BT 300mVrms
USB充電出力: 5V, 0.1Amax
その他詳細: j-soundscience.com

16ポジションのモード選択スイッチの割り当て		
ポジション	用途	
8	セカンドオーディオ標準	
0	タイムアライメント調節モード	
9	純正音質改善 (セダン用)	
A	純正音質改善 (ハーフボックス用)	
B	純正音質改善 (ワゴンボックス用)	
1	5秒後に ウーファ の位相を	出荷状態に記憶
F		反転記憶
その他	ユーザ要望拡張用	

ご注意 ◆ 緑のランプの音量に同期した点滅は、過大入力のサインです。点滅なくなるまでヘッドユニットまたはナビ側の音量を絞ってください。
◆ ロードノイズの検出感度は車に合った、最適の状態に調節します。効きすぎるとロードノイズよりも強力な低音の大音量が発生します。
使い始めは控え目(左)から初めて、徐々にアップ(右へ)する方法で、最適状態に合わせ込みます。ツミの操作は、慣れない間は停止中に行ってください。
◆ アナウンスとミュージックの自動音質調整は100%完全ではありません。音楽だけのときは左いっぱい、ニュースだけのときは右いっぱい、ラジオ放送では中央でお使いください。

取付配線 取付簡単モデル DRD-333DIY

ユニット		設置場所と方法	配線先	注意事項
メインスピーカー左		ダッシュボード左	メインアンプ {L+, Li}	
メインスピーカー右		ダッシュボード右	メインアンプ {R+, Ri}	
ウーファー		座席下(メインアンプとは別の)	メインアンプ {W+, Wi}	
小型サウンドコントローラ		適切場所, ユーザ希望場所	メインアンプ {Remote Control}	プラグ側、配線に緩みを設ける(テンションをかけない) 緩みがないと、プラグが斜めになり、振動で雑音発生
メインアンプ		座席下(ウーファーとは別の)		
シガープラグ接続コード		車のシガーソケット	メインアンプ {DC Power}	
オーディオ接続コード			メインアンプ {AUX in} ユーザースマートフォン {イヤホン}	プラグ側、配線に緩みを設ける(テンションをかけない) 緩みがないと、プラグが斜めになり、振動で雑音発生
BT 接続コード	オーディオ		メインアンプ {BT} ユーザーBTレシーバー {イヤホン}	プラグ側、配線に緩みを設ける(テンションをかけない) 緩みがないと、プラグが斜めになり、振動で雑音発生
	USB		メインアンプ {USB} ユーザーBTレシーバー {USB}	

真夏、直射日光下、ダッシュボードはかなり熱くなります。
メインスピーカ、リモートコントローラ共に、
この温度に耐えるよう設計してありますが、
温度の上昇は低いにこしたことはありません。
サントサイエンスでは、いろいろな方法を試してみました。

- ◆ 効果があって、安価で、簡単な方法は、
アルミ蒸着のシート(百円ショップ)を写真のように、
左右のドアとフレームとの間に挟んで、ドアを閉める、
でした。是非お試しください。実験の結果一夏はなんとか持ちます。



操作説明書 取付簡単モデル DRD-333DIY

1A	メインスピーカー設置	1-1. 左右それぞれのメインスピーカーの後面の接続コード(青は左、赤は右)のプラグ を引き出す 1-2. コードはとりあえずは垂れ流しにしておく 1-3. ダッシュボードの左右に エアバックが開く場所を避けて メインスピーカーを取り付ける
2A	サウンドコントローラー設置	2-1. サウンドコントローラのコードはとりあえずは垂れ流しにしておく 2-2. ダッシュボードの上 または 運転席から操作しやすい場所 にサウンドコントローラー を取り付ける
3A	そのほかのユニットの 設置場所の決定	3-1. メインアンプ: 座席の下で、ウーファーとは別の座席の下 (ウーファーが助手席の下ならメインアンプは運転席の下) 3-2. ウーファー: 座席の下で、メインアンプとは別の座席の下 (メインが助手席の下ならウーファーは運転席の下)
4A	メインスピーカーコードの 仕舞い込みと接続	4-1. 左右それぞれ、メインアンプのメインスピーカー向けネジターミナルに向けて接続コードを延ばす 4-2. 配線経路で、コードが見えないように、[車の構造物と構造物の隙間にコードを埋め込む] [マットの下に仕舞い込む] 配線経路で、コードが足元や手元にはみ出ることがないよう、配線 4-3. 配線の仕舞い込みが終われば、メインスピーカー接続線のターミナル側をメインアンプのネジターミナルに接続 極性に注意 { Lp (青:左メイン+), Ln (黒:左メイン-), { Rp (赤:右メイン+), Rn (黒:右メイン-) }
5A	サウンドコントロールコードの 仕舞い込みと サウンドコントローラーへの接続	5-1. サウンドコントローラーからメインアンプのRCジャックに向けて接続線を延ばす 5-2. 配線経路で、コードが見えないように、[車の構造物と構造物の隙間にコードを埋め込む] [マットの下に仕舞い込む] 配線経路で、コードが足元や手元にはみ出ることがないよう、配線 5-3. 配線の仕舞い込みが終われば、接続線のプラグをメインアンプのジャック RC に差し込む
6A	ウーファーの設置とコードの 仕舞い込みと メインアンプへの接続	6-1. ウーファーの底面を上向きに設置 6-2. 接続線をメインアンプのウーファー接続ターミナルに向けて延ばす 6-3. 接続線を配線経路で、コードが見えないように[マットの下に仕舞い込む] 6-4. 接続線の矢型端子を、メインアンプのネジターミナルにねじ止め 極性に注意: { Wp (黄:ウーファー +, Wn 黒:ウーファー -) }

7A	(Bluetoothレスレバを装着する場合) Bluetoothレスレバの設置と コードの仕舞い込みと メインアンプへの接続	7-1. Bluetoothレスレバーの { オーディオジャック, USBジャック } に (オーディオコード, USBコード) のプラグを差し込む 7-2. オーディオコードとUSBコードをメインアンプに向けて延ばす 7-3. Bluetoothレスレバーを適当な場所に設置 7-4. Bluetoothレスの両接続線を、配線経路でコードが見えないように仕舞い込む 配線経路で、コードが足元や手元にはみ出ることがないように、配線 7-5. Bluetoothレスの両方の接続線のプラグをメインアンプのBTジャックとUSBジャックに差し込む
8A	(Bluetoothレスレバを装着する場合) プレーヤーのイヤホンジャックから接続	8-1. プレーヤーからメインアンプのライン入力を接続できるよう、オーディオコードを配線 配線経路で、コードが足元や手元にはみ出ることがないように、配線 8-2. プレーヤーからのオーディオコードのプラグをメインアンプのAUXジャックに差し込む
9A		
10A	電源をメインアンプに接続	10-1. ライタープラグ付きの電源コードのメインアンプ側のプラグをメインアンプの電源ジャックに差し込む 10-2. 配線経路に電源コードが目立たないように、電源コードをライターソケット向けに配線 10-3. 電源コードのライタープラグを車のライターソケットに差し込む
11A	メインアンプの仕舞い込み	11-1. 全て配線を接続したメインアンプを座席下へ仕舞い込む

1B	エンジンを起動する 前の確認	1B-1. 電源コードがメインアンプからライターソケットへの接続 1B-2. サウンドコントロールコードをメインアンプのRCジャックへ接続 (BTまたはAUXジャックへ接続していないことを確認) 1B-3. メインアンプと小型サウンドコントローラのスナップスイッチが左側
2B	エンジンを起動して 電源系統の確認	2B-1. サウンドコントローラの緑ランプが数秒間点滅の後、連続点灯 (点灯しない場合はメインアンプの緑ランプの点灯を確認 → 点灯ならばサウンドコントローラとメインアンプの接続を確認) (メインアンプの緑ランプが点灯していない場合 → 電源コードの接続を確認) 2B-2. スマートフォンの場合、Bluetoothスレーバとの間でペアリングを取る (Bluetoothスレーバのランプが点滅していなければ → USBコードの接続を確認) (ペアリングが取れなければBluetoothスレーバの説明書によるペアリング手順を確認)
3B	(Bluetoothスレーバを 装着した場合) Bluetoothによる 再生の確認	3B-1. スマートフォンからBluetooth経由で楽曲を再生 → スマートフォンの再生ボリュームを適度に上げる → サウンドコントローラの緑ランプの点灯を確認 → 最も左のツマミを右に廻す (再生中にもかかわらず音が出なければ → Bluetoothスレーバとメインアンプとのオーディオコードの接続を確認)
4B	プレーヤーのイヤホン端子から 再生の確認	4B-1. プレーヤーから楽曲を再生 → プレーヤーの再生ボリュームを適度に上げる → サウンドコントローラの緑ランプの点灯を確認 → 最も左のツマミを右に廻す (再生中にもかかわらず音が出なければ → プレーヤーとメインアンプとのオーディオコードの接続を確認)
5B		
6B	操作ツマミの機能確認	6B-1. 各種ボリュームとスイッチの状態の確認 (以下、時刻表記は時計の短針の位置に相当) Master Volume: 音量調節, Bass Tone: 低音調節 (推奨 10時～11時) * Bass Tone: 低音調節 (推奨 10時～11時) * Treble tone: 高音調節 (推奨 10時～11時) * * L/R Balance: アナウンスと音楽の音質調整の自動と手動の兼ね合い (中央は自動, 左ほど強制音楽, 右ほど強制アナウンス) (タイムアライメントの設定と共用です) Surround: 音場の左右の広がり感の調節 (通常 9時～10時) (モノラルの楽曲には効果はありません) Load Noise Response: ロードノイズ対応音量音質の調節 (推奨 11時) (車体、設置条件、好みによって満足な状態にセット) (注意: 運転に支障のない範囲で行ってください。特に、慣れていない間はパーキング中に操作) * * * Mode: 各種設定のための16通りの切り替えスイッチ (通常はポジション3時の位置), スナップスイッチ: X側 (左) タイムアライメント: モノラル信号 (ラジオ放送) を再生、ポジションを9時、スナップスイッチをY側 (右側) とし、5秒経過後、 S/M のツマミで音の方向調節、スナップスイッチをX側 (左) に戻す * : 小型サウンドコントローラの LEF は (メインアンプで設定の Bass, Treble の比率で) 低音高音同時可変 となる * * : L/Rバランスは常時メインアンプ側で設定 小形サウンドコントローラ側からの制御はできない * * * : Mode は ロタリスイッチは常時メインアンプ側で設定、小型サウンドコントローラ側からの制御はできない

7B		
8b	パーキング中での音質確認	8B-1. ダイナミックサウンドシャキットのマスターボリュームを10時とする 8B-2. ダイナミックサウンドシャキットの再生音量が適正音量となるよう、純正システムの再生音量を選択 8B-3. その後の再生音量はジュニアサウンドシャキットのマスターボリュームで調節 (ダイナミックサウンドシャキットの再生音が【歪む、音割れ】――>純正側音量を下げる) (ダイナミックサウンドシャキットの再生音に【チリチリ、ザザ】とノイズが入る――>純正側音量を上げる) 8B-4. 純正側で再生したい場合はジュニアサウンドシャキットの音量を絞り、純正側の音量を上げる。
9B	走行中での音量音質確認	9B-1. 停止中、常々聞いている音量にセツ 9B-2. 走行中、最も右のロードノイズ対応音量音質調整ツミで、 走行速度や路面状態によって大きく変化するロードノイズの中で、最適音量音質に調節（その後は固定） 一度設定しても、慣れの度合いによって、さらに自然にしたい、と感じます。その時は再調節します。 何度か試みて最適のポジションを選びます。 (注意: 慣れない間、運転中の音量が気になりますが、運転を最優先にしてください) (注意: 楽曲によって、放送は電波の状態によって、音量が変わります。この場合はマスターボリュームで調節します)
10B	アナウンスと音楽の音質確認	10B-1. S/M Tone のツミを12時とし、楽曲とアナウンスとの再生音質を比べます。 12時の位置はアナウンスと音楽の自動判定による自動音質制御です。 音質を自動ではなく手動選択にしたい場合、 12時から左に廻すほど手動での音楽向きの音質になります。 中間は固定の【音楽音質またはアナウンス音質】と自動とを案分します。12時に近いほど自動調節に任せます。 (自動の場合、映画や天気予報など、BGMが入っていると、音楽音質傾向になります。)
11C	各操作ツミの有効的な使い方	11C-1. 各種ボリュームとスイッチの状態の確認（以下、時刻表記は時計の短針の位置に相当） Master Volume: 音量調節, Bass Tone: 低音調節（推奨 10時～11時） * Bass Tone: 低音調節（推奨 10時～11時） * Treble tone: 高音調節（推奨 10時～11時） * * L/R Balance: モノラル信号(ラジオ放送)を再生、音が聞こえてくる方向の調節（通常 10時～12時～2時） S/M Tone: アナウンスと音楽の音質調整の自動と手動の兼ね合い （中央は自動、左ほど強制音楽、右ほど強制アナウンス）(タイムアライメントの設定と共用です) Surround: 音場の左右の広がり感の調節（通常 9時～10時）(モノラルの楽曲には効果はありません) Load Noise Response: ロードノイズ対応音量音質の調節（推奨 11時）(車体、設置条件、好みによって満足な状態にセツ) (注意: 運転に支障のない範囲で行ってください。特に、慣れていない間はパーキング中に操作) * * * Mode: 各種設定のための16通りの切り替えスイッチ(通常はポジション3時の位置), スナップスイッチ: X側(左) タイムアライメント: モノラル信号(ラジオ放送)を再生、ポジションを9時、スナップスイッチをY側(右側)とし、5秒経過後、S/M のツミで音の方向調節、スナップスイッチをX側(左)に戻す * : 小型サウンドコントローラの LEF は(メインアンプで設定の Bass, Treble の比率で) 低音高音同時可変 となる * * : L/Rバランスは常時メインアンプ側で設定 小形サウンドコントローラ側からの制御はできない * * * : Mode は ロタリスイッチは常時メインアンプ側で設定、小型サウンドコントローラ側からの制御はできない

ご使用に際して

運転中のリスニングで、
前方から音が聞こえること、
ロードノイズに対応して音量音質が最適状態に自動調節されること、
コントロールの操作ツマミが多いこと、
など、これまでのカーオーディオとは音質の感じ方や操作方法が大きく違います。
数回の運転で慣れますが、
使い始めはくれぐれもご注意くださいまして、運転に集中くださいますよう。

いろいろな楽曲でお試しくくださいますよう。

何かと、お気づきの点がありましたら、下記までご連絡くだされば、と存じます。

サウンドサイエンス株式会社

郵便番号 770-8041 徳島市上八万町西山436番地

0886-44-2222

web_support@soundscience.co.jp